

完了報告書（平成 23 年度）

提出者 中山 大将

提出年月日 2012 年 3 月 30 日

【プロジェクト名】

和文

女性人口移動にみるアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容

英文

Female Migrations in Reconstructions of Socialism Systems and Intimate Spheres in Asia

【メンバー構成】

研究代表者

幹事 中山大将

メンバー 李丹

【ねらいと目的】（600 字程度）

本ユニットは昨年度の「ポスト冷戦期アジア社会主義圏の女性人口移動」の継続を申請するものである。引き続き、サハリンと中国を事例に、女性人口移動からアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容を明らかにする。

①サハリン残留日本人帰国者と韓人親密圏（担当：中山）

サハリンには韓人（日本時代から樺太在住の朝鮮人）の家族（特に妻）という形で、多くの残留日本人が存在しており、ペレストロイカ以降、日本への永住帰国が進められている。以下 2 点に取り組む。

1) サハリン残留日本人名簿の整理

昨年度の調査の結果、帰国事業に携わっている NPO 法人が管理するサハリン残留日本人名簿は未整理の状態にあることが分かった。残留日本人の基礎的情報が未完備なのである。この整理を同 NPO と協力して進め残留日本人の実像を明らかにする。

2) 帰国と韓人親密圏

残留日本人の多くは韓人親密圏に埋没しており、永住帰国は、高齢者ケアやエスニシティ、家族などの親密圏に関わる諸問題を内包している。聞き取り調査からこれらを明らかにし帰国事業に貢献する。

②小城镇における出稼ぎ帰郷女性の起業（担当：李）

昨年度は、従来の中国農村出稼ぎ研究の「男性偏重」「都市-農村二分法」の克服を目指して地方都市およびその周辺農村での調査を行った。女性出稼ぎ者が帰郷後に各種の起業を行うことで、農村地域の親密圏が変容していく過程が確認された。中間地域で起きている親密圏の変容を女性帰郷起業者を中心に明らかにする。

以上、地域・分野横断的な研究を行い、アジア社会主義圏における女性と公共圏/親密圏の問題にアプローチする。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等
調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等
その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

<中国調査>

- ・調査者：李丹
- ・調査年月日：2011年8月5日～9月20日
- ・調査地：中華人民共和国河北省
- ・調査目的：「回流」（出稼ぎを終えて農村で定着すること）女性たちへの聞き取り調査。

*中山については、申請時の予算が削減されての採択であったので、独自の調査は行えなかった。このため、他研究プロジェクトで収集した文書資料・インタビュー資料を用いて本テーマについての検討を行った。

【成果の概要】（800字程度）

<中山>

サハリン残留日本人女性について、他研究プロジェクトで収集した各種名簿類やインタビュー資料を再検証し以下の点を明らかにした。

- ①冷戦期：残留日本人女性の朝鮮化・ロシア化の進展が起き、日本人エスニシティは隠蔽される傾向にあった。
- ②ペレストロイカ以降：州都残留日本人コミュニティが、移動規制緩和と本国支援者との連携で、帰国ネットワークへと変換し、エスニシティ・ナショナリティの再選択・表明が起きた。

<李丹>

中国の外出務工女性の回流に関して、以下の研究課題をたててフィールド調査を行った。
課題①女性の「流動」経験・ライフコースを把握し、女性「流動」の選択性を解明する。
課題②各世代の女性の「流動」経験の変化、ライフコースの形成から、「流動」経験が女性のライフコースに与える影響を解明する。

調査より以下の結論が得られた。

結論①流動の選択性

上の世代：外出務工は家庭内の経済的理由。回流は家庭的理由。

下の世代：外出務工は都市生活への羨望。回流は個人的理由（都市生活・労働、結婚

結論②流動経験のライフコースへの影響

上の世代：家庭からの解放。

下の世代：都市生活・労働の忌避、結婚時期を意識。

→自己の人生の目標、価値を考える契機。

→経済的自立と家庭生活の両立を志向。

→身近な手段としての「起業」（小資本、家族経営）

*インフォーマント保護の観点から写真は掲載しない。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	450 (千円)	実績額 450 (千円)

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する
許諾書

研究成果タイトル

女性人口移動にみるアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2012 年 3 月 30 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）
の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

許諾する。

部分的に許諾する。

許諾する部分を具体的にご記入ください。

■ 下記の理由により許諾しない。（中山執筆分）

■ 調査対象者の個人情報保護のため

その他（具体的に理由をご記入ください）